

## 第6回 日ASEAN交通大臣会合

2008年11月7日 マニラ(フィリピン)

### 共同大臣声明(仮訳)

1. 日本とASEANの交通大臣は、2008年11月7日、フィリピン共和国マニラにおいて、日本の宿利国土交通審議官とフィリピン共和国のレアンドロ・メンドーザ(Leandro R. Mendoza)運輸通信大臣を共同議長として「第6回日ASEAN交通大臣会合」を開催した。
2. 交通大臣は、日ASEAN交通連携(AJTP)に関して、見直し作業の成果とこれに伴いマニラアクションプラン2009-2013の下で策定された将来の行動と提案を了承した。マニラアクションプランは、今日的な地球規模及び地域的な課題を考慮しつつ、地域経済統合を進めていくための4つの政策分野における政策重視の協力の枠組みを定めている。このため、交通大臣は、今後数年間マニラアクションプランに基づき日ASEAN交通連携を一層進展させることに合意した。
3. 交通大臣はまた、交通連携プロジェクトの実施における目覚ましい進展に満足した。交通大臣は、物流、安全・安心、環境及び共通基盤・その他の4つの政策的柱からなる行動計画(2008-2009)を歓迎した。特に、交通大臣は「日ASEANエコエアポートガイドライン」及び「日ASEAN船員共同養成プログラム」という二つの重要なイニシアチブを承認した。
4. 「日ASEANエコエアポートガイドライン」は、日ASEAN地域における空港環境を改善するために不可欠な政策と取り組みを強化するものである。大気汚染、騒音・振動、エネルギー消費及びリサイクルといった問題については、各空港において運用、維持及び改修等の管理業務を実施するためにガイドラインの一部として定められ、取り組まれることとなる。
5. 「日ASEAN船員共同養成プログラム」は、船員に関する専門性、能力及び訓練基準の分野において、ASEAN地域における船員の資質を向上させるものである。この新たな協力の枠組みにおいて、日本とASEANは、政府、民間及び教育機関間における協力のもと三つの主要なプロジェクトを開始する。
6. 交通大臣は、日ASEAN交通連携における交通分野での環境改善策に関し、次回の交通大臣会合での審議を見据えた行動計画の策定に関する日本の新たな提案を承認した。
7. 「第7回日ASEAN交通大臣会合」は、2009年にベトナムで開催される。

## 日ASEAN交通大臣会合

1. アブ・バカル・アポン ブルネイ国 運輸通信大臣
2. チャンコサール カンボジア国 公共事業・運輸次官
3. ジャマル インドネシア国 運輸通信大臣
4. 宿利 正史 日本国 国土交通審議官
5. ポールセナ ラオス国 通信運輸郵政建設大臣
6. オン マレーシア国 運輸大臣
7. テン・スエ ミャンマー国 運輸大臣
8. メンドーザ フィリピン国 運輸通信大臣
9. リム シンガポール国 運輸大臣
10. シンシラパアシャ タイ国 運輸副大臣
11. ズン ベトナム国 交通運輸大臣
12. ビタサ ASEAN事務局 農業・インフラ担当局長

## 日 ASEAN 交通連携プロジェクトリスト

### 【物流】

- 物流プロジェクト
- 物流訓練センター支援プロジェクト(新規)
- 海上交通に関する ASEAN 統合及び競争力向上のためのロードマップへの支援(新規)

### 【安全・安心】

- 次世代航空保安システムプロジェクト
- 航空セキュリティプロジェクト
- 船員政策フォーラム
- 海事セキュリティプログラム
- 港湾技術共同研究プロジェクト
- 安全で環境にやさしい自動車プロジェクト
- ITS 推進
- 地球温暖化ガス削減プロジェクト
- 交通安全プロジェクト

### 【環境】

- 次世代航空保安システムプロジェクト
- 空港調査プロジェクト
- メガポート普及推進プロジェクト
- 港湾技術共同研究プロジェクト
- 公共交通 IC カードの導入・普及
- ITS 推進
- 安全で環境にやさしい自動車プロジェクト
- 鉄道再生事業
- 都市公共交通政策フレームワーク
- 地球温暖化ガス削減プロジェクト
- 環境に関する新たな行動計画の提案(新規)

### 【共通基盤・その他】

- 交通政策行政官研修プログラム
- 交通情報プラットフォームプロジェクト
- クルーズ振興プログラム